

いよいよ冬眠準備が 始まります!!



みなさん、秋の味覚(キノコや果物など)を楽しんでいますか?

山で生活している動物達も、いよいよ冬眠の準備に入ります。

※ 昨年は、エサ不足や暖冬のため、私たちの生活している所にクマやイノシシが山から町へおりました。(今も、出てきています。)

そこで、秋号ではクマやイノシシなどと出会ったときの、注意点を教えます!!

クマに出会わないためには?

● 出没情報に注意しましょう

(校外学習など、山へ入るときは調べましょう。)

あらかじめ山に入る地域の目撃情報を確認して、クマのいるところには近づかないことが大切です。新潟県や見附市のホームページを確認しましょう。

● クマの足あとなどに気をつけましょう

山の中で、フンや足あとをみつけたら、その場を早く立ち去りましょう。

● 自分達がいることを知らせましょう

なるべく多くの大人といっしょに行動し、鈴やラジオなどを鳴らして、自分たちの存在をアピールしてください。風や雨、川の音などで伝わりにくい場合もありますから、鈴やラジオに頼りすぎに注意です。



● 早朝、夕方は特に気をつけましょう

朝や夕方の薄暗い時間帯は、クマの活動が活発になります。その時間帯を避けて、行動してください。昼間でも活動していることがありますので、日中でも周囲への気配りが必要です。

山は野生動物の住処です。
周囲に気をつけながら、ハイキングや
キャンプなどを楽しみましょう♪



クマを引き寄せないためには?

● ごみは持ち帰りましょう

クマが出没する原因は、**餌**の存在です。人間の食べ物または、その臭いなどに馴れさせてはいけません。(一度、食べ物があることを知ると、そこへ何度も来ます。)

ハイキングやキャンプなどで出たごみは、持ち帰りましょう。

そして、よく目に着くのが**道路や空き地への、お弁当の容器や食べ残しのポイッ捨て**です。クマを引き寄せる大変危険な行為です。絶対にやめましょう!!



クマが出没しにくい環境づくりを
心がけましょう!!

深呼吸したくなる街

秋号!!

エコみつけ

ここはエコのど真ん中

発行・編集

見附市 市民生活課

〒954-8686

新潟県見附市昭和町2丁目1番1号

Tel: 0258-62-1700

Fax: 0258-62-7062

E-mail: shiminseikatsu@

city.mitsuke.niigata.jp



見附のイメージキャラクター
ミック

お・や・く・そ・く

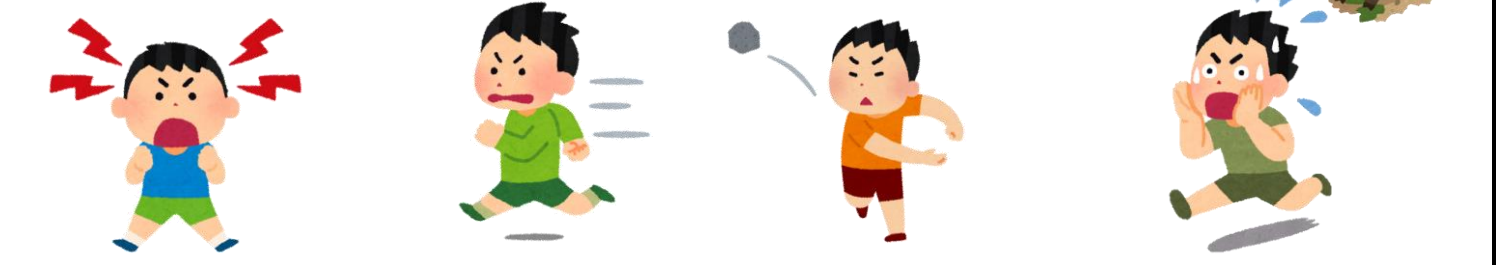
◎すぐに、大人の人たちへ知らせましょう!!

◎いたずらで、「クマがいたよ!!」とか、「イノシシが逃げた!!」など、出てもいないのに大人を困らせることはやめましょう。

★いざというときに、君たちを助けられません。



クマ・イノシシに出会ってしまったら？



- ⚠️ 大声を出さない!!
- ⚠️ 走らない!!
- ⚠️ 石や物を投げない!!
- ⚠️ 背中を向けて走らない!!



◆クマ豆知識◆
 ●クマは逃げるものを追う習性があります。100mを9秒で走るなど、**ボルト選手なみの俊足**で追いかけてきます。(時速60km?!)
力ではかないません。まずは、落ち着いて騒がず、走らず、ゆっくり後退してください。

- ⚠️ カサや棒などを振りまわさない!!
- ⚠️ ゆっくり後ろへ移動!!



クマが襲ってきたら、どうしたらいいの？

「死んだふり」は効果がありません。
地面にふせダメージを最小限とするため、**両手で頭や首など急所をしっかりとガード**しクマの攻撃をしのぐ方法が有効です。
 ※うつ伏せになり、両手で首の後ろをガードしてください。➡️



子連れのカマ・うり坊（イノシシの子）に注意しましょう!!

子グマを見ても、**決して近づいてはいけません**。母グマが子グマを守るため「襲って」くるかもしれません。大変危険です。絶対に近寄らないでください。
 そして、**うり坊（イノシシの子）**を見かけても**近寄らない**ようにしてください。
近くに母イノシシがいる可能性がありますので、追いかけてりしないでください。
 それから、カワイイからといって、食べ物を与えないでください。人が怖くなくなり、人から食べ物を貰うことが当たり前になってしまいます。

身の安全が確保できたら、お家の人や近くにいる大人の人たちに助けをもらいましょう。
 保護者および近隣住民の方々へ：速やかに見附警察署および市役所に連絡をしてください。
 ★見附警察署：0258-63-0110 ★見附市役所：0258-62-1700